

Sing Sing Sing

ジャズが最も大衆的な人気と注目を集めていた時代に代表する名曲。1936年、レイ・プラマによって作曲された。

トロンボーン、トランペット、クラリネット、ドラムなどのソロが印象的で、スウィング・ジャズの特徴を余すところ無く盛り込んだ一曲である。

1938年にベニー・グッドマン楽団がカーネギーホールでのコンサートを演じて以来、同楽団の代表曲として知られ、以後も数々のビッグバンドによってカバーされた。日本映画「スウィング・ガールズ」でも特徴的に取り上げられている。

～作曲者について～

レイ・プラマ (Louis Prima) 1910～1978

アメリカ合衆国のジャズ・ミュージシャン。

トランペッター、ヴォーカリスト、作曲家として活躍した。

“King of the Swingers”の異名を持つ。



合言葉は情熱!

寒さに負けず "ジャズ"やるべ!